

### 【意見表明等支援の体制について】

- 意見表明等を支援する体制が十分に機能しているか検証するための仕組みが必要である
- 初めて会う大人には話をできない子供もいることを念頭に置き、意見表明等支援員が子供の意見を聴けたかどうかを客観的に確認する仕組みが必要ではないか
- 意見表明等支援員は、希望制ではなく、原則として対象となる子供に付く制度とし、子供が希望しない場合のみ支援から外れるオプトアウトの方式としてはどうか
- 第三者委員が意見表明を支援できるよう、第三者委員の研修などについても検討が必要ではないか

### 【意見表明等支援員の担い手について】

- 支援する場面に応じて、弁護士、福祉専門職、社会的養護経験者など幅広く人材を確保できると良いのではないか
- チームのように様々な人材が互いに補い合える体制にできると良いのではないか
- 子供の権利擁護の担保や、関係機関との連携のため、研修等により資質を確保することが重要である
- 担い手の養成や必要な資質については、先行事例を踏まえて更に検討できると良いのではないか

### 【提言(案)のとりまとめについて】

- 冒頭に、意見表明等支援は、子供の権利保障のための仕組みであること、子供の権利保障を子供主体で考えることが重要であることを記載する必要があるのではないか
- 意見表明等支援員のモデル実施に関する内容は、意見表明等を支援する仕組みの全体像と分けて記載すると分かりやすいのではないか

### 【その他】

- 社会的養護経験者の参画方法について検討が必要ではないか
- 施設等の現場で取り組むべき内容をまとめた、意見表明等支援の解説本のようなものがあると良いのではないか